



研修・教育制度 年間スケジュール

5月	看護研究研修会（基礎編）
6月	個人面談にて年間課題の確認
7月	看護研究研修会（応用編）
10月	第1回課題提出
11月	個人面談 （提出課題に対するディスカッション）
12月	修正課題再提出
1月	課題抄録提出
3月	看護部院内研究発表会 （6月院内研究発表会に向けて演題のセレクト）



研修・教育制度 看護研究のステップ



研修・教育制度 経験別クリニカルラダー

ラダー教育制度の目的

01

看護師が組織の目標達成のプロセスにおいて個人の能力及びライフサイクルに応じて、組織の支援を受けながら看護実践能力の向上に主体的に取り組むことができる。

02

看護師としての経験を基に、既卒者に対して客観的な評価基準を設け、能力段階に応じた人材育成ができる。

03

自己評価をするうえで課題を抽出し、解決のための方策を自らが考え取り組むことができる。

レベル別達成目標

レベルⅠ 新卒～2年目	レベルⅡ 2年～5年目の看護師	レベルⅢ 5年目～の中堅看護師 看護実践モデル	レベルⅣ 師長・主任、管理監督レベル 特定分野における認定看護師
（定義） 看護実践するために、指導を必要とするレベル	（定義） 自律的に、日常看護業務を遂行できるレベル	（定義） 看護モデルとなり、後輩を育成できるレベル	（定義） 専門的な看護実践と指導的役割が発揮できるレベル 部署・スタッフの目標達成を促進し、管理監督業務ができるレベル
（目標） - 看護基礎教育を基盤として、実践で指導を受けながら技術と知識の向上に努める - 社会人としてのマナーを身に付けることができるに努める - 院内、院外の教育計画に積極的に参加し、自己の学習課題を明確にすることができる	（目標） - 自律的に看護を実践することができる - 緊急事態への対応や、患者・家族に対する指導ができる - 看護業務を効率的に遂行でき、チームリーダーの役割ができる - 研修会等で学んだことが実践でき、ケーススタディー1症例を発表することができる	（目標） - 後輩への指導を計画的に行い、必要時支援ができる - 患者のニーズとスタッフの能力を考慮し、業務配分ができる - レベルⅠ、Ⅱのスタッフが各自の役割を発揮できるよう指導ができる - 看護業務の改善に向けて、創造的かつ積極的に意見を述べ、活動ができる - 院内研究発表会で発表ができる	（目標） - 看護の質を査定するとともに、質向上に向けて部下を支援できる - 新人教育のプログラム作成、実施評価ができる - 業務量と内容を把握し、分析・改善に向けて計画立案と実施、評価ができる - スタッフに看護研究の指導と助言ができる - 自己のキャリア開発に向けて自立的に活動ができる

【看護部チーム活動】

業務改善チーム

▼目標

1. 看護業務を見直し、サービス向上を図る。
2. 看護技術マニュアルの見直しを行い活用することで根拠が明確で安心できるケアを提供する。

▼実践

各課長が中心となり、看護業務を見直し改善することに取り組んでいます。患者情報共有ツールを作成し、各スタッフが知り得た情報を追加記録できるようにしました。看護技術マニュアルの見直しを継続して行っています。

サービス向上チーム

▼目標

1. 接遇マナー、身だしなみを整え、患者様に満足していただける療養環境を提供する。

▼実践

毎月、サービス目標を設定し掲示しています。特に挨拶、自己紹介が 100%できること、患者様からのクレームがあれば情報共有し改善できるよう取り組んでいます。退院される患者様の満足度調査を実施しています。

看護記録監査チーム

▼目標

1. 看護ケア実践が見える記録ができる。
2. 看護計画立案、実践、評価記録ができる。

▼実践

看護記録を SOAP にすることで記録時間の短縮となることを提案し、記録方法の統一を目指しています。急性期病棟での看護計画評価日の変更、計画に沿った記録となるよう勉強会を開催しています。言葉の標準化を行い、統一された看護サマリー記録ができるよう取り組んでいます。

クリニカルパスチーム

▼目標

1. 脳卒中クリニカルパス、手術前後のパスを作成し円滑な治療・ケア実践を目指す。

▼実践

脳卒中パス活用の継続と患者様用のパスの見直しを行っています。活用するなかで問題点を明らかにし、改善できるようにしています。目標設定、治療、検査、看護ケア実践などがわかりやすく活用できるパス作成に取り組んでいます。

教育チーム

▼目標

1. 成長できる院内教育の充実を目指す。
2. 院内外の研修に参加し知識を共有する。
3. 院内研究発表会に取り組む。

▼実践

年間教育プログラムを作成し、クリニカルラダー別勉強会を実施しています。参加メンバーから勉強会後に意見を聞きことで、次の研修方法が検討できるようにしています。毎年、3月に看護部院内研究発表会を開催しています。

感染対策チーム

▼目標

1. 感染管理に対する情報共有を徹底し、根拠をもって感染対策を実施する。
2. 感染対策に必要な知識・技術を身につける。

▼実施

リンクナースが中心となりコロナウイルス感染対策を徹底するため、院内感染対策委員会と連携しながら活動しています。スタンダードプリコーション実施を徹底するための学習会を開催しました。コロナウイルス感染対策のみならず日頃から感染に対する意識を高めることができるよう働きかけています。